

| | | | |
|-------------|---------------|----------|----------|
| フレッシューズゼミ A | | 演習 | 講師 清家 洋 |
| 科目カテゴリー | 救急救命士コースの必修科目 | 科目ナンバリング | 13130101 |

1. テーマ

救急医療，救急・救助，災害対応，その他救急救命士にかかわりのある幅広いテーマを取り扱う。

2. 授業のねらい・概要

このゼミでは，学生と教員が双方向の議論を通じて卒業後のキャリアビジョンを共に探求し，卒業後の社会生活に向けた準備を進めることを目的とする。救急救命士として社会で活躍するためには，救急活動に関する専門的技術力のみならず，高い人間性，論理的思考能力，コミュニケーションスキル等が不可欠である。本授業では，これらの能力の醸成を図るとともに，救急救命士免許取得に向けた基礎知識の習得にも焦点を当てる。

3. ゼミ計画

| | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. ガイダンス | 9. プレゼンテーションの重要性 |
| 2. キャリアナビ①（座学） | 10. 基礎学習②（人体の構造と機能②） |
| 3. 基礎学習①（人体の構造と機能①） | 11. グループワークとプレゼンテーションの方法 |
| 4. キャリアナビ②（面談：学生約 10 人） | 12. 基礎学習③（人体の構造と機能③） |
| 5. キャリアナビ③（面談：学生約 10 人） | 13. グループ討議①（課題検討） |
| 6. キャリアナビ④（面談：学生約 10 人） | 14. グループ討議②（発表準備） |
| 7. キャリアナビ⑤（面談：学生約 10 人） | 15. 検討結果発表 |
| 8. 中間試験 | |

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習・復習に，週 7 時間以上を要する。また，第 15 回目のゼミで行う「検討結果発表」に向けた諸準備に相当の時間を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により，個別または授業中の講義を通じて行う。

6. ゼミにおける学修の到達目標

救急救命士としてのキャリアデザインを考え，将来の目標を明確化する。また，救急救命士国家試験受験に向けた基礎を築く。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミへの取り組み姿勢（30%），中間試験の結果（30%）及び「検討結果発表」（40%）により成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

改訂第 10 版救急救命士標準テキスト
適宜指定する資料

9. 受講上の留意事項

3 分の 1 以上を欠席した場合は不合格とする。また，取り組み姿勢が著しく消極的であると認められた場合は教員が注意を行い，これを是正しない場合は，当該授業を欠席扱いとする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は，公的機関等での実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。